

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2295300129		
法人名	医療法人 社団駿甲会		
事業所名	グループホーム実夢青木 (1階・2階合同)		
所在地	静岡県藤枝市青木2-15-5		
自己評価作成日	平成24年9月5日	評価結果市町村受理日	平成24年10月12日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	
----------	--

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	有限会社システムデザイン研究所		
所在地	静岡県葵区紺屋町5-8 マルシメビル6階		
訪問調査日	平成24年9月24日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

基本理念にある「その人がその人らしく」を大切に支援をしています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

藤枝駅周辺は、近年、ホテルや高層マンション、商業施設の建設など開発ラッシュとなっています。活気つく駅周辺から車で5分ほどの利便性の高い場所に事業所はあります。新築住宅に囲まれて、事業所も昨年新規開設しています。季節毎に替えるというリソグラフの絵画が各廊下の壁面を飾り、居室前の草花の水彩画やクラフト作品、観葉植物などがあり、目が和む景色がそこかしこにあります。1階はオレンジ、2階はグリーンを基調にしており、小物も併せて揃えられていました。落ち着いた調和したインテリアに同調するように職員も温和で、「お願いします」「ありがとうございました」と同僚間においても節度ある関係をもっていることを視認しました。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓該当するものに○印		項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

〔セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。〕

自己 外部	項 目	自己評価	外部評価		
		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容	
I.理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	スタッフ皆で作った理念を基に実践につなげる努力を行っている。	法人理念のほかに職員でつくった理念があります。自らつくり愛着もあるためか、プラン会議における意見交換にも理念を反映した声が挙がり、管理者も嬉しく感じています。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	施設開設からの年数が浅く、地域の交流は日常的とはいかないが、施設での行事には、御家族様、近隣住民のかたにも声をかけ、交流に勤めている。	新築住宅に囲まれた場所にあり、周囲には若い夫婦の家庭が多くあります。年末には事業所から呼びかけ、一緒に餅つきをしました。現在は乳幼児ばかりですが、今後幼児へと育ち、事業所に遊びに寄ってくれる日を職員一同心待ちにしています。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域の方への認知症の理解等を行っているが、地域貢献や、支援方法については事業所の力を生かしきれていない。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議では、施設でのサービスの取り組み状況の話し合いを行い、その時の意見をサービスの向上に生かしている。	市役所・包括の職員、自治会長、町内会長、民生委員、家族の参加を得て、2ヶ月に1回開催しています。特にテーマがあるわけではありませんが、開催日を事前に決めていることや、管理者が自由な懇談時間を重視していることが功を奏し、充実した時間をもっていることが記録からも覗えました。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営推進会議などで事業所の取り組み等の、情報提供を行っている。	運営推進会議には必ず参加してもらっています。また、現在の担当者は朗らかで面倒見がよいので、先方から声掛けしてもらえることが多く、助かっているとのことです。市役所からは「現在の状況」について定期的に問い合わせがあり、事業所も都度回答していて、蜜な連携がとれています。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	すべての職員が禁止の対象となる行為を正しく理解しようとし、身体拘束をしないケアの取り組みを行っている。	各フロア毎のドアは施錠していますが、玄関施錠はしていません。柵の取り付けを希望する利用者もいて、本人の希望でおこなう場合にもよく吟味、検討しています。スピーチロックについては職員間でも挙げられていて、意識の高まりがみられます。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	高齢者虐待防止関連法についての学ぶ機会には明確にはつくれていないが、管理者、各スタッフが虐待が無いよう注意を払っている。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	管理者やスタッフは日常生活自立支援事業や、成年後見人制度の必要性がある場合、活用に心がけている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	各、契約、解約などは、利用者、御家族様に説明を行い、理解、納得を頂いている。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者や家族等の意見、要望は管理者、職員は理解し、運営に反映させているが、外部者に表す機会までは設けられていない。	日頃の様子が写真付で掲載された「実夢タイムズ」という事業所便りを発行していて、請求書とともに毎月家族に届けています。面会の折には「(いらしていただいて)ありがとうございます」と、必ず言うようにと管理者は指導していて、家族が来訪しやすい土壌をつくっています。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	代表者、管理者は、職員の意見、提案を聞き、反映させている。	まだ個人面談はおこなったことはありませんが、管理者は「否定しない」ことを方針としていて、そのため言いやすい雰囲気醸成されています。人を介しての話もありますが、職員の中には自ら管理者に相談にくる者もいます。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	代表者、管理者は、職員が向上心を持って働けるよう勤めている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員の力量を把握できており、研修、トレーニングを行っている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	他施設の交流を図り、勉強会、サービスの向上、取り組みの話し合いを行っている。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	利用者の困っていること、不安、要望に添った話し合いを行い、本人の安心できる関係作りに勤めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族の困っていること、不安、要望に添った話し合いを行い、御家族が安心、納得出来るような関係作りに勤めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	サービス導入の時点で、適切な支援、サービス利用に努めている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	すべての利用者とはいかないが、暮らしを共にする者同士としての、関係作りに勤めている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	職員はご家族を支えながら協力を仰ぎ、ともに利用者も支えることを心がけている。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	利用者のこれまでのなじみの人、場所が切れないままの方もいるが、上手く関係の継続が出来ていない方もいる。	自宅を見に行きたい、近所の美容院に出掛けたいといった利用者の要望に職員が同行しています。また、編み物や将棋、草取りなど以前の趣味も継続しています。昔、書道をやっていた利用者を中心に、全員で書道をおこなうようになったという例もあります。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者同士の関係を理解し、より良い係わり合いが出来るよう勤めている。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービス利用が終了しても、関係がまったく消えてしまうことは無いが、関係の継続、フォロー、相談までは出来ていない。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	本人様の思いや、希望の把握に努め、その人らしい暮らし方が出来るよう支援している。	不穏があれば付添って戸外を歩くこともありますが、外出企画などではグループで行動することが多く、まだ個々の要望に寄り添うことが足りないと捉えていて、事業所としては課題として位置付けています。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	フェイスシートに御家族の協力も経て、出来る限りの情報をいれ、スタッフの情報の共有に勤めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	毎日、一人ひとりの心身状態、日々の様子の変化に気をつけ、把握に心がけている。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	現状に即した介護計画の作成に勤めているが、チームでの作成が上手くいっていないときがある。	モニタリングとプラン化は主に計画作成担当者とケアマネージャーがおこなっています。現在はプラン会議で職員意見を反映させていますが、今後は職員がモニタリングまでできるようになって欲しいと考えています。	育成の一環として、モニタリングの模擬会のような機会をつくることを期待します。
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	気づきや工夫の共有が上手く機能しておらず、介護計画の見直しに生かされていない。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	本人や、家族のニーズに対応したサービス提供に心がけ、多機能化に向けて取り組めるよう努力している。		

自己評価および外部評価結果

〔セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。〕

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域資源の利用を現在上手く活用できるよう心掛けている。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医との連携、より良い関係を気づき、適切な医療をうけられている。	看護師が週4日常駐しています。法人本部の医師が協力医としていますが、ほとんどの利用者が在宅時からのかかりつけ医を継続しています。受診支援は家族にお願いしていますが、難しい場合は職員も手伝っています。日頃の心身状態を家族に持参してもらい、また報告は口頭で得て記録しています。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	スタッフは入居者の日々の変化、体調などの気づきに対して、看護師に相談し、適切な受診が行えるよう勤めている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時、病院との連絡、情報の提供は、密に出来ており、良い関係を築けている。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化や、終末期に対して、御家族様、本人様と話し合い事業所で出来ること、の説明を行っている。地域の関係者とのチーム作りを目指している。	本人、家族の希望があれば積極的に取り組む予定でいます。利用者の在宅時からのかかりつけ医の中には「協力しますよ」と、心強い言葉をくださる医師もいます。今後も、いざという場合に備えて、地域医療との連携や職員教育を進めていく考えです。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	利用者の急変時、迅速な対応が出来るよう心がけているが、定期的な訓練は行われていない。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	災害時には近隣住民との協力体制を築き、定期的な訓練を行い、迅速な対応が出来るよう勤めている。	年2回の取り組みは、近所にも声掛けして行っています。ただし、近所の参加は実現していません。2階の利用者を実際に背負って降りる等、具体的に実施しています。消防署主催の訓練にも参加しています。	備蓄は在庫の米やミネラル水を多めに確保していますが、簡易トイレやヘルメット等の用具についても今後必要か否かの検討することを期待します。

自己評価および外部評価結果

〔セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。〕

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅳ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	入居者一人ひとりを尊重した声掛けを行っている。	法人本部で接遇訓練を定期的におこなっていて、職員も参加しています。同姓の利用者や、本人の反応がよい場合には下の名前で呼んでいますが、親しみが度を過ぎないように配慮しています。	派遣社員もいて、標準化されているとは言い難い場面もありました。職員確保についてあらためて検討することを期待します。
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日常生活の中で本人の希望、思いの聞き取り等を行い、本人の意思に添った支援を行っている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	職員の都合になってしまわないよう、日々、その人らしい暮らしの支援に心がけている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	本人様希望の服を選んでいただくなどして、その人らしいおしゃれの支援を行っている。 洗顔、洗髪にも気遣い、身だしなみにも気を配るよう支援を行っている。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	入居者一人ひとりの食事の好みの聞き取りを行い、食事の楽しみの提供、配膳、食器洗い等、スタッフと共に行っていただいている。	米はふっくらとした食感とほのかに甘さが舌に残る逸品です。法人本部が「美味しく栄養のあるものを」と厳選していて、米は全事業所共通のことです。主菜、副菜、デザートも季節の食材を上手に取り入れていて、職員の手作りです。おやつレクは週2回ほどおこなっています。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一人ひとりの食事量、水分摂取量に気を配り、本人様の摂取しやすい食事の提供を行っている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の口腔ケアを行い、口腔内の清潔を図っている。臥床時には、義歯は外して頂き、洗浄剤につけている。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	定期的なトイレ誘導を行い、安易なオムツ使用のないよう心がけている。	トイレでおこなってもらうことを旨とし、定期的な誘導により、改善向上した例もあります。また、スムーズな排泄支援として繊維質の多い食材、特に根菜類を食事のメニューに入れることを心掛けています。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	普段から便秘予防に気を配り飲食物の工夫、場合によっては薬での対応、薬も調節を行い適切な排泄が出来るよう心がけている。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	本人の希望した日の入浴を心がけているが、日数の開いた方、夜間の入浴などに対しては、少しだが職員側の都合になってしまっているところもある。	毎日の入浴希望は現在はありません。希望があっても対応は難しいのですが、入浴後の記録確認により日が空かないようにして、清潔保持に努めています。マンツーマン介護のため、職員と会話を楽しんだり、歌を唄う利用者もいます。しょうぶ湯などかわり湯にも取り組んでいます。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	本人希望に応じての休憩、夜間良眠の支援を行っている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	各入居者の服薬している薬の目的を理解し、服薬後の症状の変化、場合によっては医師に相談し調節を行っている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	日々の生活の中で楽しみの提供を行い、一人ひとりに合わせた楽しみの提供を心がけて支援するようにしている。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	一人ひとりの希望に添った外出はある程度出来ているが、地域の方との協力までではない。外出の機会はまだ多くはないが、出来る限りは行っている。	開所から1年を経て、散歩コースもできています。家族が連れ出して外食する利用者もいますが、事業所でも外食レクを半年に1回程度こなっています。大きな車がないためドライブは難しいのですが、地域の祭りなど徒歩の範囲は出かけるようにしています。	

自己評価および外部評価結果

〔セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。〕

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お金の所持をされている方もおり、希望や力に応じてお金の使用が出来るように支援している。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	本人希望時には、自由な電話の使用、手紙のやり取りも自由に行っている。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用の空間に不快な物、混乱を招くような物を置かないようにしている。季節を感じられるよう、季節に応じた飾り物をし、楽しんでいく。	季節毎に替えるというリソグラフの絵画が各廊下の壁面を飾っています。ほかにも居室前の草花の水彩画やクラフト作品、観葉植物などがあり、目が和む景色がそこかしこにあります。1階はオレンジ、2階はグリーンを基調にしており、小物も併せて揃えられていました。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共用空間では、独りになれたり、思い思いに出来る場所などは作られていない。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かし、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室は、本人の使い慣れた物を家族と相談し使用している。本人の過ごし安い空間作りに勤めている。	介護用ベッドと防火カーテンがリリースです。カーテンはリリースのため、定期クリーニングで常に清潔です。クローゼットが備え付けられていますが、自宅から整理ダンスや椅子が持ち込まれ、趣味のものや家族の写真もありました。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	一人ひとりが安全かつ自由な生活が出来るよう心がけている。		